

各 位

上場会社名 TOWA株式会社
 代表者 取締役社長執行役員 三浦 宗男
 (コード番号 6315)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経営企画本部長 中西 和彦
 (TEL 075 - 692 - 0251)

2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月9日に公表いたしました2026年3月期通期の業績予想を下記の通り修正することいたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 56,000	百万円 9,800	百万円 9,800	百万円 6,860	円 銭 91.46
今回修正予想(B)	54,500	7,000	7,000	4,950	65.98
増減額(B-A)	△1,500	△2,800	△2,800	△1,910	
増減率(%)	△2.7	△28.6	△28.6	△27.8	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	53,479	8,880	9,400	8,121	108.28

修正の理由

当初見込んでいた量産投資の時期が後ろ倒しとなったことや、評価用設備などリードタイムの長い製品の受注比率が高まったことから、売上計上の時期が期初計画から後ずれし、売上高は前回予想を下回る見通しです。また、売上高の減少に加え、製品ミックス変動の影響や初回納入に伴う追加コストの影響を受け、各段階利益も前回予想を下回る見込みです。前回予想比では売上高・各段階利益ともに下回るもの、当第2四半期以降の業績は着実に回復基調にあり、売上高は過去最高を更新する見通しです。

足元の受注環境はメモリなどAI・データセンタ向けを中心に堅調に推移しております。こうした需要動向を背景に、受注残高も着実に積み上がっており、今後の売上高に寄与するものと見込んでおります。また、コンプレッション装置の受注が増加しており、この傾向を踏まえると製品ミックスの改善が期待されます。さらに、一時的な要因である初回納入に伴う追加コストの影響が軽減されることから、利益についても改善するものと見込んでおります。

以 上